

県南教育事務所  
教育情報

# 南 nanpu 風

令和8年3月25日(水)  
No. 22【通巻第262号】  
文責：教務課指導班

## 今年度の指導の重点に関わる状況について

今年度、県南教育事務所では、「人材育成」「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「共に学び、共に育つ教育（特別支援教育）」を重点として事業に取り組んできました。今号では、この5つの重点の今年度の取組状況と、来年度の方向性についてお伝えします。

令和7年度事業	取組状況と方向性
<p><b>1 「岩手で、世界で活躍する人材」の育成に関わって</b></p> <p>&lt;目標&gt; 「いわての復興教育」及びキャリア教育等の推進により、社会の変化に対応し、岩手の産業や地域を支える人材や、世界で活躍する人材を育成する。</p>	<p>各校において、地域の人的・物的資源を活用した、特色ある教育活動が継続して進められています。児童生徒が、将来に夢や目標をもったり、地域に愛着をもったりするために、今後も体系的・継続的な教育活動を推進していく必要があります。</p> <p>☞復興教育研修会、実践的キャリア教育研修会を通して、地域の実情を踏まえた具体的な実践の交流を図り、各校の取組の構想・推進を支援します。</p>
<p><b>2 「確かな学力」の育成に関わって</b></p> <p>&lt;目標&gt; 各学校の組織的取組を土台として、日々の授業や諸調査から明らかになった児童生徒の「つまずき」に着目し、「主体的・対話的で深い学び」を視点とした授業改善に生かすことを通して、児童生徒一人ひとりの資質・能力の向上を図る。</p>	<p>授業で、自分の考えを深めたり広げたりしている児童生徒の割合が昨年度より増加しました。主体的・対話的で深い学びの実現に向け、子どもを主語にした授業改善が進んでいるものと考えられます。</p> <p>☞訪問事業や各種研修会等を通して、資質・能力の育成に向け、諸調査結果や日々の授業から明らかになった児童生徒のつまずきに着目した授業改善を支援します。また、確かな学力育成プランに基づいた検証改善サイクルによる、授業研究の活性化に向けた学校全体の取組を支援します。</p>
<p><b>3 「豊かな心」の育成に関わって</b></p> <p>&lt;目標&gt; 生徒指導や道徳教育等の充実により、児童生徒一人ひとりの規範意識や自己肯定感、思いやりや協調性など、豊かな心を育成する。</p>	<p>規範意識や自己肯定感、思いやりに関する項目で、昨年度を下回る結果となっています。児童生徒が互いのよさを認め合い、主体的に他者と関わることができるよう、日常の教育活動における働きかけを充実していく必要があります。</p> <p>☞生徒指導の充実を図るために、発達支持的生徒指導の視点を踏まえ、具体的事例に基づく研修を実施し、組織的対応を支援します。道徳教育の充実のために授業改善の視点を中心とした研修を実施します。</p>
<p><b>4 「健やかな体」の育成に関わって</b></p> <p>&lt;目標&gt; 自らの体力や健康に関心を持ち、生涯にわたる体力の向上や健康の保持増進につながる資質・能力を育成する。</p>	<p>運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合は、昨年度と同様に高く、先生方が児童生徒に対して、運動の多様な楽しみ方を味わわせている成果であると考えられます。引き続き、運動に親しむ児童生徒を育成していくことで、運動時間の増加を促すとともに、生涯を通じて体力や健康の保持増進を図る素地を育成していく必要があります。</p> <p>☞研修会・訪問事業を通して、よりよい生活習慣の確立に向けた『60（ロクマル）プラスプロジェクト』の推進を支援します。</p>
<p><b>5 「共に学び、共に育つ教育」の推進に関わって</b></p> <p>&lt;目標&gt; 「共に学び、共に育つ教育」の理念のもと、特別な支援を必要とする幼児児童生徒一人ひとりに対する教育的ニーズにきめ細かく応える組織的な支援体制の充実を図り、個々のもてる力を高める。</p>	<p>「障がいのある児童生徒を念頭に置いた指導上の工夫を行っている学校の割合」は、質問項目の変更もあり大幅に増加しました。引き続き「個別の教育支援計画」を活用し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた校内支援体制の充実が求められます。</p> <p>☞研修会や特別支援エリアコーディネーターによる支援を通して、通常の学級も含めた校内支援体制構築や授業実践への支援を行います。</p>

令和7年度も、たくさんのご協力ありがとうございました。令和8年度、県南教育事務所では、「夢や希望を持ち、県南の未来を創造する人づくり～つながりや支え合いの中で、自分らしくいきいきと学ぶことを目指して～」をスローガンとして各種事業に取り組んでいきます。